

環境教育「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会
 編集者：代表幹事 高橋 賢一
 連絡先：市民活動支援センター
 尾張旭市渋川町三丁目5番地7
 (渋川福祉センター内)
 TEL 0561-51-2878

平成25年
11月2日(星)
こども環
境大学
第5期
三河湾
再生カ
ラクト
事業。

三河湾

1960年代の初めから
 愛知県企業庁による埋
 め立て事業が始まり、
 風光明媚な湾口は消滅
 し干潟は湾奥に閉じこ
 められた砂になっ
 てしまっ
 三河湾とは500メートルほ
 ど水路をつながってま
 す。面積は約100ヘクタ
 ーです。面積的に
 往年の20パーセント以下にな
 ってしまったが、それでも本
 州では最大級の干潟の
 ついであり、国内最大級の
 残り性水鳥(カモやシギ、
 今どりの仲間)の渡来地
 として重要な場所です。

9時47分
干潮
到着時間
10時10分

▼干潮が引いてお分



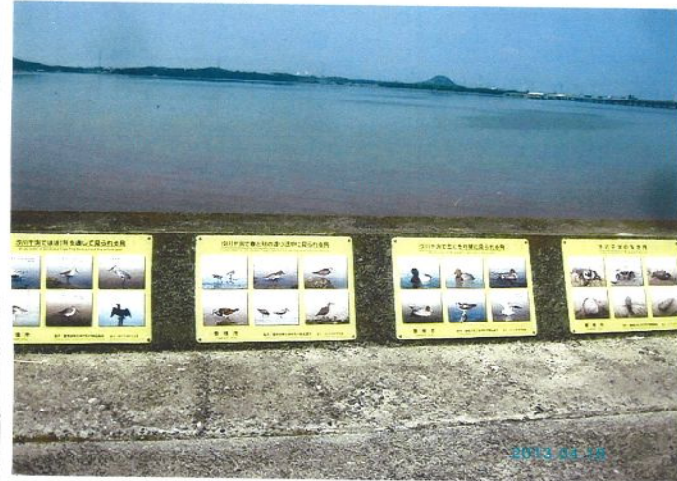
2013.11.02



2013.11.02

干潟の生き
 物観察。
 三河湾の現状
 私たちに海の
 恵みをもたら
 してくれている
 のの最後の経
 済発展に伴い
 埋立等により
 干潟残場
 見築場のゆく
 巻が失われ
 水質汚濁
 見や富栄養
 二化、赤潮の
 発生など
 カ環境の悪
 化が生じて
 います。
 流木の下

▼潮が満ちている様子。



2013.11.02

▶干潟「干潟から見つけるもの」
 発見を楽しもう。



2013.11.02



2013.11.02

▶干潟の観察終了らゴミ袋

▶「体験の風」をおこそう



2013.11.02